

第55期中間報告書

平成19年4月1日から平成19年9月30日まで



第55期

中間報告書

システムキッチン「S.S.」と「クリンレディ」を
フルモデルチェンジいたしました。

目次

株主のみなさまへ	2
業績の概要～今後の課題～	3～4
連結貸借対照表の要旨	5～6
連結損益計算書の要旨	7
連結キャッシュ・フロー計算書の要旨	8
中間連結株主資本等変動計算書の要旨	8
単体貸借対照表の要旨/単体損益計算書の要旨	9
中間単体株主資本等変動計算書の要旨	9
クリナップトピックス	10～12
会社の概要/株式の状況/役員	13
事業所とショールームのご案内	14

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、第55期上半期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）を終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

当上半期のわが国経済は、企業収益の改善や堅調な民間設備投資を背景に、景気は緩やかな回復基調が続きました。しかし一方では、原油および原材料の高騰が続き、個人消費にも力強さを欠くなど、内外の不安定要因を抱えつつ推移しております。住宅設備機器市場は、新設住宅着工戸数が持ち家を中心に低迷し、リフォーム需要も伸び悩みが続いたことから、システムキッチン、戸建用システムバスルームとも、中級品クラスに伸長が見られず、高級品クラスでは大きく前年を割り込む出荷状況となりました。さらに、平成19年6月20日施行の改正建築基準法の影響から、新設住宅着工戸数が7月以降過去にない大幅な落ち込みとなり、先行きの不透明感が極めて強い状況となっております。

このようななか、当社は、平成19年2月にモデルチェンジしたシステムバスルーム「アクリア」の拡販に努め、さらに平成19年9月には、主力のシステムキッチン「S.S.」および「クリンレディ」両シリーズのフルモデルチェンジを行いました。またこの機会に、ご購入のお客さまを末永く

サポートさせていただく有料メンテナンス制度として、20年サポートプログラム「スマイル20」を開始いたしました。全国109カ所のショールームにつきましては、新商品展示にともなう改装を実施し、昨年11月に発足したリフォーム店、工務店を会員とする「水まわり工房」主催のリフォームフェアの全国開催を推進してまいりました。しかしながら、当上半期の当社業績は、主力のシステムキッチン「S.S.」および「クリンレディ」が数量、金額とも前年を下回り、原材料の高騰も続いたことから、前年同期比減収となり、利益面では損失計上の大変厳しい結果となりました。

今後は、改正建築基準法のマイナス影響が計りがたい状況ではありますが、商品およびサービスの両面から、お客さまへの提案活動を強化し、9月に市場導入いたしましたシステムキッチン「S.S.」および「クリンレディ」とシステムバスルーム「アクリア」を中心に販売の拡大に努め、業績の向上を図ってまいります。



株主のみなさまには、今後とも一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成19年12月
代表取締役社長
井上 強一

業績の概要～今後の課題～

連結財務ハイライト

	当中間期 平成19年4月 1日から 平成19年9月30日まで	前中間期 平成18年4月 1日から 平成18年9月30日まで	前期 平成18年4月 1日から 平成19年3月31日まで	(単位:百万円)
売 上 高	54,759	58,474	122,781	
営業利益又は 営業損失(▲)	▲306	1,833	4,139	
経常利益又は 経常損失(▲)	▲352	1,737	3,962	
中間(当期)純利益又は 中間純損失(▲)	▲740	881	1,865	
	平成19年9月30日現在	平成18年9月30日現在	平成19年3月31日現在	
総 資 産	84,276	88,512	86,950	
純 資 産	59,074	60,138	60,595	

当中間期の経営環境

当中間期は、わが国経済の景気が緩やかな回復基調で推移したものの、住宅設備機器業界にとっては大変厳しい環境となりました。リフォーム需要、新築需要ともに伸び悩みが続

いたことから、中級品クラスに伸びが見られず、高級品クラスは大幅に前年同期を下回る出荷数量となりました。

営業の概況

このような状況のなか、当社は、平成19年2月にモデルチェンジしたシステムバスルーム「アクリア」の販売に注力し、平成19年9月には、主力のシステムキッチン「S.S.」および「クリンレディ」のフルモデルチェンジを行いました。ショールームは、全国109カ所の新商品展示改装を実施し、さらに新宿ショールームでは、全国に先がけて、キッチン・バス関連グッズの販売

拡充と、新たにオーガニックワインの販売を開始いたしました。またショールームを活用し、昨年発足した「水まわり工房」登録店によるリフォームフェアを積極的に開催しました。当社ホームページでは、「水まわり工房」サイトを設け、登録店のプロフィール紹介と、リフォームフェア実施の案内をきめ細かく掲載しています。

業績の概況

以上の結果、当中間期の連結売上高は、システムバスルーム「アクリア」が、数量・金額とも伸長したものの、主力のシステムキッチン「S.S.」および「クリンレディ」の低迷が大きく、前年同期比6.4%減の547億59百万円となりました。

利益面では、キッチン主力商品減収の影響が大きく、経費圧縮に努めたものの営業損失3億6百万円、経常損失3億52百万円、中間純損失7億40百万円の大幅減益となりました。

配当政策

安定配当の継続を基本方針として配当性向も鑑み、中間配当金は1株につき10円とさせ

ていただきます。

今後の課題・戦略

わが国経済は、今後も底堅い景気回復傾向を持続しながら推移すると思われます。

しかしながら、住宅設備機器業界では、平成19年6月20日施行の改正建築基準法の影響から、新設住宅着工戸数の大幅な落ち込みが続いています。リフォーム需要も低迷し、回復には時間を要するものと思われ、先行きの不透明感が強い状況が続くものと予想されます。

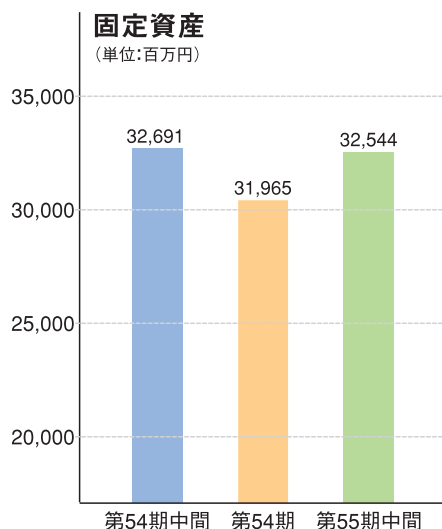
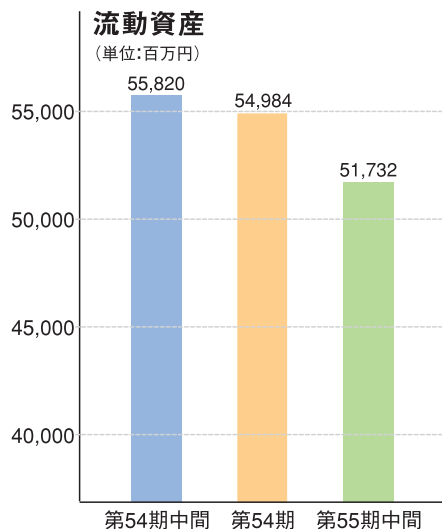
当社は、今回のシステムキッチン「S.S.」およ

び「クリンレディ」のフルモデルチェンジを機に、新たなサービス・メンテナンスプログラム「スマイル20」をお客さまに向けて開始しました。中・高級品クラスを主力とした商品力強化に加え、ショールームの提案機能を拡充し、「水まわり工房」をはじめとする地域有力店との連携を一層強化し、主力のシステム商品を中心とした需要の創造と獲得こそが今後の課題と認識しています。



連結貸借対照表の要旨 BS

(単位:百万円)



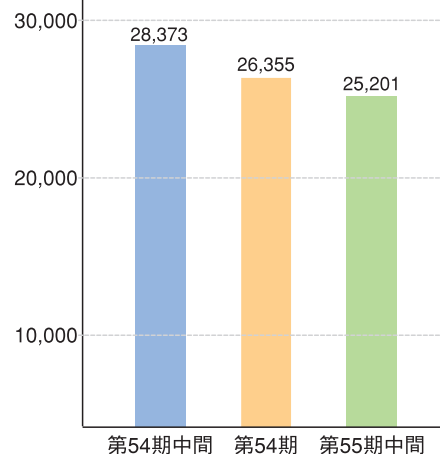
	当中間期 平成19年9月30日現在	前中間期 平成18年9月30日現在	前期 平成19年3月31日現在
資産の部			
流動資産	51,732	55,820	54,984
現金及び預金	14,815	14,962	15,827
受取手形及び売掛金	25,906	29,586	30,537
その他	11,070	11,338	8,688
貸倒引当金	▲61	▲66	▲68
固定資産	32,544	32,691	31,965
有形固定資産	22,981	22,548	22,273
建物及び構築物	10,105	10,517	10,242
土地	6,654	6,753	6,748
その他	6,221	5,277	5,282
無形固定資産	2,836	3,500	3,024
投資その他の資産	6,726	6,641	6,667
投資有価証券	2,765	2,953	2,952
その他	4,368	4,069	4,108
貸倒引当金	▲309	▲381	▲326
投資損失引当金	▲98	—	▲67
資産合計	84,276	88,512	86,950

(単位:百万円)

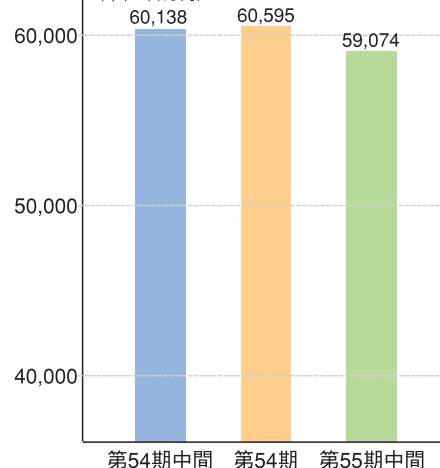
	当中間期 平成19年9月30日現在	前中間期 平成18年9月30日現在	前期 平成19年3月31日現在
■負債の部			
流動負債	20,261	23,459	22,136
買掛金	6,589	7,629	6,925
その他	13,672	15,830	15,210
固定負債	4,939	4,913	4,218
長期借入金	1,973	1,713	909
退職給付引当金	775	690	730
役員退職慰労引当金	424	424	424
その他	1,766	2,085	2,154
負債合計	25,201	28,373	26,355
■純資産の部			
株主資本	58,399	59,133	59,628
資本金	13,267	13,267	13,267
資本剰余金	12,351	12,351	12,351
利益剰余金	32,843	33,577	34,073
自己株式	▲63	▲63	▲63
評価・換算差額等	675	1,004	966
その他有価証券評価差額金	675	1,004	966
純資産合計	59,074	60,138	60,595
負債純資産合計	84,276	88,512	86,950

負債合計

(単位:百万円)

**純資産合計**

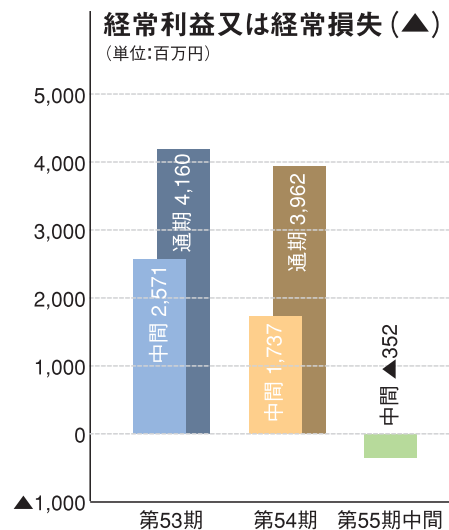
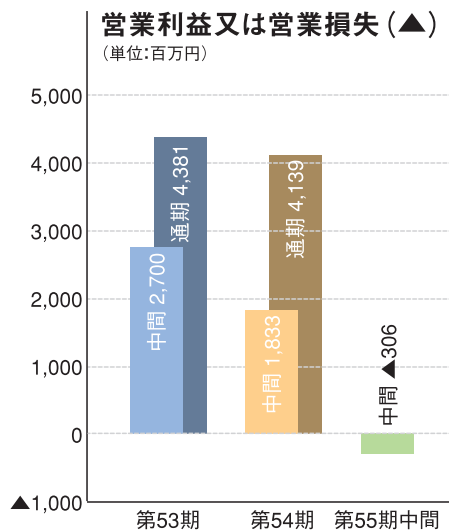
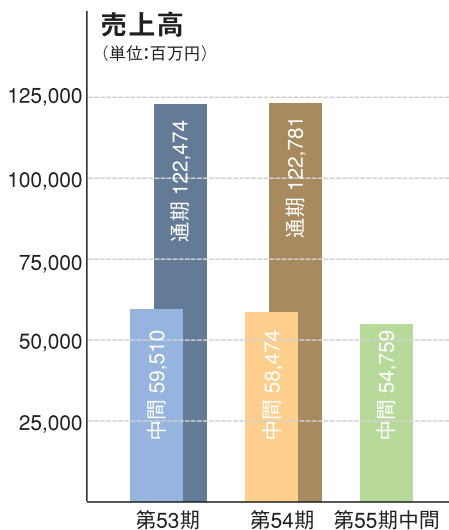
(単位:百万円)



連結損益計算書の要旨

PL

	当中間期 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	前中間期 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	前期 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
売上高	54,759	58,474	122,781
売上原価	35,809	37,749	80,722
売上総利益	18,950	20,725	42,059
販売費及び一般管理費	19,256	18,892	37,920
営業利益又は営業損失(▲)	▲306	1,833	4,139
営業外収益	356	309	657
営業外費用	402	405	834
経常利益又は経常損失(▲)	▲352	1,737	3,962
特別利益	24	1	115
特別損失	228	203	690
税金等調整前中間(当期)純利益又は税金等調整前中間純損失(▲)	▲556	1,535	3,386
法人税、住民税及び事業税	145	590	1,279
法人税等調整額	38	65	243
少数株主損失	—	2	2
中間(当期)純利益又は中間純損失(▲)	▲740	881	1,865



連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

CF

	当中間期 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	前中間期 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	前期 (単位:百万円) 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,624	2,550	5,827
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,018	▲1,026	▲2,085
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲817	▲1,926	▲3,279
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
現金及び現金同等物の増減額	▲211	▲402	462
現金及び現金同等物の期首残高	16,634	16,171	16,171
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	16,422	15,769	16,634

中間連結株主資本等変動計算書の要旨

(単位:百万円)

当中間期 平成19年4月1日から平成19年9月30日まで								
科目	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
前期末残高	13,267	12,351	34,073	▲63	59,628	966	966	60,595
中間期変動額								
剰余金の配当			▲488		▲488			▲488
中間純損失			▲740		▲740			▲740
自己株式の取得				▲0	▲0			▲0
株主資本以外の項目の 中間期変動額(純額)						▲290	▲290	▲290
中間期変動額合計	—	—	▲1,229	▲0	▲1,229	▲290	▲290	▲1,520
中間期末残高	13,267	12,351	32,843	▲63	58,399	675	675	59,074



BS・PL

単体貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

	当中間期 平成19年9月30日現在	前中間期 平成18年9月30日現在	前期 平成19年3月31日現在
■資産の部			
流動資産	49,387	53,848	52,372
固定資産	32,468	32,536	31,799
有形固定資産	20,277	19,701	19,514
無形固定資産	2,807	3,449	2,985
投資その他の資産	9,383	9,386	9,298
資産合計	81,856	86,385	84,171
■負債の部			
流動負債	19,330	22,567	21,076
固定負債	4,414	4,506	3,705
負債合計	23,744	27,074	24,781
■純資産の部			
株主資本	57,435	58,306	58,422
資本金	13,267	13,267	13,267
資本剰余金	12,351	12,351	12,351
利益剰余金	31,880	32,750	32,867
自己株式	▲63	▲63	▲63
評価・換算差額等	675	1,004	966
その他有価証券評価差額金	675	1,004	966
純資産合計	58,111	59,311	59,389
負債純資産合計	81,856	86,385	84,171

単体損益計算書の要旨

(単位:百万円)

	当中間期 平成19年4月 1日から 平成19年9月30日まで	前中間期 平成18年4月 1日から 平成18年9月30日まで	前期 平成18年4月 1日から 平成19年3月31日まで
売上高	53,149	57,017	119,582
売上原価	34,660	36,813	78,704
売上総利益	18,489	20,203	40,878
販売費及び一般管理費	18,969	18,698	37,667
営業利益又は営業損失(▲)	▲479	1,505	3,211
営業外収益	852	611	1,134
営業外費用	521	531	1,091
経常利益又は経常損失(▲)	▲148	1,584	3,255
特別利益	23	0	0
特別損失	223	202	674
税引前中間(当期)純利益 又は税引前中間純損失(▲)	▲349	1,383	2,580
法人税、住民税及び事業税	54	422	894
法人税等調整額	94	127	247
中間(当期)純利益 又は中間純損失(▲)	▲498	833	1,438

中間単体株主資本等変動計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当中間期 平成19年4月 1日から平成19年9月30日まで					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
前期末残高	13,267	12,351	32,867	▲63	58,422	966	966	59,389
中間期変動額								
剰余金の配当			▲488		▲488			▲488
中間純損失			▲498		▲498			▲498
自己株式の取得				▲0	▲0			▲0
株主資本以外の項目の 中間期変動額(純額)						▲290	▲290	▲290
中間期変動額合計	—	—	▲986	▲0	▲986	▲290	▲290	▲1,277
中間期末残高	13,267	12,351	31,880	▲63	57,435	675	675	58,111

システムキッチン「S.S.」と「クリンレディ」をフルモデルチェンジしました。

「料理をつくるよろこび」 ステンレスシステムキッチン「S.S.」。



S.S. アトリエブラン

「S.S.」の主な新アイテム

【ツールコンテナ】

シンク下のキャビネットに、キッチンで使う全ての道具を集中収納。

【+Free（プラスフリー）システム】

ツールコンテナで生まれたスペースに、9種類の専用キャビネットから選択。

【S-styleワークトップ&シンク】

ステンレスの特性を生かしたスタイリッシュなワークトップとシンク。

【KURAキャビネット】

選べる9種類のキャビネット。KURAキャビネットは、冷暗保存の必要な調味料や食材の収納に最適です（特許・意匠出願中）。

これまで、キャビネット材質の違いを主な特徴としていた、システムキッチン「S.S.」と「クリンレディ」。今回、平成19年9月のモデルチェンジでは、キャビネットやカウンターシンクの機能とデザインをはじめ、それぞれの構成部材についても違った提案を盛り込みました。

料理にこだわるご家庭の「S.S.」、ご家族を大切にする「クリンレディ」、お客さまの個性が活かされた高いグレードのキッチンを実現する新シリーズに生まれ変わりました。



KURAキャビネット

「家族のうれしい笑顔が、毎日育つ」
フロアコンテナシステムキッチン「クリンレディ」。



クリンレディ くつろぎプラン

「クリンレディ」の主な新アイテム

【くつろぎプラン】

「くつろぎテーブル」で、
家族が集まるオープンキッチンを提案。

【わいわいプラン】

家族がみんな集まって楽しくシンクを使えるプラン。

【ハンギングガードバー&ハンギングシステム】

キャビネットの裏側に、様々な収納機能を集中。

【スワンシンク】

人工大理石「アクリストン」でシンクとワークトップを一体成型。
これまでにない広さと使いやすさ。
白鳥がつばさを広げたような曲線の新しい人工大理石シンクです。



スワンシンク

アイテム数は約300点。新宿ショールームのキッチングッズショップ。 新たにオーガニックワインの発売も開始しました。



新宿ショールーム

平成19年9月、システムキッチン「S.S.」および「クリンレディ」の新シリーズ発売にあわせて、全国109カ所のショールームの改装と展示のリニューアルが行われました。なかでも、新宿ショールームでは、全国に先がけて、キッチン・バス関連グッズの提案販売コーナーを拡充し、新たにフランス産オーガニックワインの販売を開始しました。関連グッズのアイテム数は約300点、ご家族そろって楽しい食の時間を創造していただき、快適なバスタイムを過ごしていただくための提案内容をさらに充実させました。

20年サポートプログラム「スマイル20」 ずっと笑顔でお使いいただけるように。

システムキッチン「S.S.」と「クリンレディ」のフルモデルチェンジと同時に、新しい有料メンテナンスサービスシステムを開始しました。対象商品は平成19年9月以降に購入された、システムキッチン「S.S.」および「クリンレディ」とシステムバスルーム「アクリア」。ご購入のお客さまには、クリナップスマイル会員として登録していただき、定期的なメンテナンス情報をご提供するとともに、ご契約ごとのサービスをきめ細かく実施し、お客さまの暮らしをお手伝いします。



スマイル20

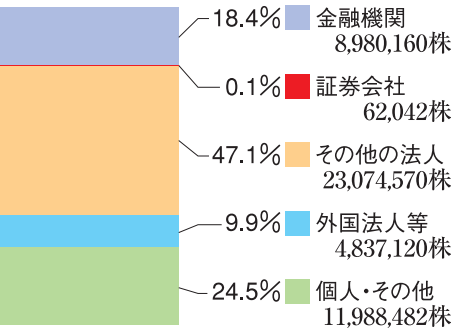
会社の概要 (平成19年9月30日現在)

商号	クリナップ株式会社 Cleanup Corporation
本店所在地	〒116-8587 東京都荒川区西日暮里6丁目22番22号 電話 03(3894)4771 (大代表)
創業	昭和24年10月5日
会社設立	昭和29年10月5日
上場	平成2年2月6日 東証2部上場 平成3年9月2日 東証1部指定
資本金	132億6,734万円
主要営業品目	厨房機器、浴槽機器、洗面機器、その他

株式の状況 (平成19年9月30日現在)

発行可能株式総数	130,000,000株
発行済株式総数	48,942,374株
株主数	5,328名 (前期末比634名増)

所有者別分布状況



大株主

株主名	持株数	出資比率
株式会社井上	12,500千株	25.5%
株式会社タカヤス	8,574千株	17.5%
クリナップ社員持株会	2,437千株	4.9%
クリナップ真栄会	1,351千株	2.7%
ザバンクオブニューヨークジャスティックフリーティアアカウント	1,309千株	2.6%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,216千株	2.4%
クリナップ共進会	1,157千株	2.3%
井上 登	1,049千株	2.1%
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,043千株	2.1%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	741千株	1.5%

注) 出資比率は自己株式(63,127株)を控除して計算しております。

役員 (平成19年6月27日現在)

代表取締役社長	井上強一	取締役	加藤亨一	監査役	猪狩昌行
取締役	高嶋 信	取締役	小島輝夫	監査役	新谷謙一
取締役	川合和夫	取締役	小松裕恒	監査役	有賀文宣
取締役	酒井 均	常勤監査役	山根康正		

注) 監査役 新谷謙一および有賀文宣の両氏は、社外監査役であります。

事業所とショールームのご案内 (平成19年9月30日現在)

本社 / 東京都荒川区西日暮里6丁目22番22号
支店 / 国内16カ所
営業所 / 国内128カ所
出張所 / 国内12カ所
海外 / 香港支店、北京事務所
工場 / 四倉、鹿島システム、鹿島、湯本、クレート (いずれも福島県いわき市)

ショールーム/全国109カ所

- 札幌支店 札幌、旭川、帯広、北見、釧路、函館
- 東北支店 青森、八戸、弘前、盛岡、水沢、石巻、仙台、秋田、横手、山形、庄内、福島、会津、いわき、郡山
- 東関東支店 水戸、つくば、千葉、市川、柏、木更津、成田
- 北関東支店 宇都宮、小山、太田、高崎
- 埼玉支店 大宮、川越、熊谷、越谷
- 東京支店 新宿、練馬、足立、多摩、甲府
- 横浜支店 横浜、横浜北、厚木、相模原、藤沢、横須賀
- 静岡支店 静岡、沼津、浜松、富士
- 信越支店 新潟、上越、長岡、長野、松本
- 北陸支店 富山、高岡、金沢、福井、敦賀
- 名古屋支店 岐阜、名古屋、小牧、豊田、岡崎、豊橋、津、四日市
- 京都支店 滋賀、彦根、京都、福知山
- 大阪支店 大阪、北大阪、南大阪、神戸、姫路、奈良、奈良北、和歌山
- 中国支店 鳥取、米子、松江、岡山、倉敷、津山、広島、福山、山口、下関、徳山
- 四国支店 徳島、高松、松山、宇和島、高知
- 九州支店 福岡、北九州、久留米、佐賀、長崎、佐世保、熊本、大分、宮崎、都城、鹿児島、沖縄

お近くのショールームをホームページでご確認ください。
<http://cleanup.jp/>

※株主・投資家のみなさまに向けたIR情報(決算情報等)を掲載しております。
また、「商品情報」をはじめ、ホットな「新着情報」、さらに「生活情報」なども掲載しております。

「環境報告書」をホームページで公開中

http://cleanup.jp/life_cycle/index.shtml



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先 (郵便物送付先、電話照会先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
単元株式数	100株
公告方法	日本経済新聞に掲載して行います。

【お知らせ】

○株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙(届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等)書類のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

☎ 0120-244-479 (本店証券代行部) } 通話料無料
☎ 0120-684-479 (大阪証券代行部)

URL <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主さまは、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

住まいの夢を創る

ア・エ・ス・エス。株式会社

<http://cleanup.jp/>

2100
古紙配合率100%再生紙を使用

**PRINTED WITH
SOY INK**
大豆油インキを使用